

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年																
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~1日	8月 ~8日	8月 ~15日	8月 ~22日	8月 ~29日	9月 ~5日	9月 ~12日	9月 ~19日	9月 ~26日	10月 ~3日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	137	114	169	115	122	34	18	11	14	8	6	12	14	11 (13)	12
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	52	61	55	64	63	16	9	2	10	8	7	12	12	6 (11)	28
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	3	1	5	8	10	2	11	1	5	4	0	3	3	3	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	33	19	39	25	17	0	4	1	5	5	9	4	3	4	6
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	15	25	31	13	14	5	5	2	5	2	2	2	5	1	4
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	3	4	4	0	1	0	0	2	1	4	1	0	0	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第39週(9月27~10月3日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7			1	1	4		1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	8	E型肝炎	1	1						
		日本紅斑熱	5			4				1
		レジオネラ症	2					2		
五類	13	侵襲性肺炎球菌感染症	1							1
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1					1		
		梅毒	11			1		8		2
新型コロナウイルス感染症	203	新型コロナウイルス感染症	203	24	13	6	0	137	5	18

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第39週に137件の報告がありました。先週に比べて減少しているものの、10万人当たりの1週間新規感染者数は10.0人(10月5日発表)と、広島県の警戒基準値(4.0人)を上回っています。緊急事態宣言は9月30日に解除されましたが、再拡大を避けるため、広島県は10月1日から14日まで集中対策を継続することとしました。広島市は感染の水準等から集中対策の重点区域に設定されています。感染を確実に抑え込むため、対策に取り組みましょう。

広島県集中対策 -県民/事業者の皆様への要請- (期間:10月1日～14日)

- 外出を半減
- 出勤者は7割削減
- 重点区域では、21時以降外出せず
- 県外往来は、慎重に判断を
- 県内の重点区域との往来は、感染防止対策を徹底
(重点区域:広島市、東広島市、府中町、海田町)

【参考】緊急事態宣言の解除と集中対策の継続【R3.9.28会見】(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/20210928.html>

2 梅毒

8件の報告があり、今年の累計は64件となりました。昨年同時期(45件)と比べて1.4倍に増加しています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがありますので、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね	
														増減	増減	1:2以上の増減	1:1.5~2の増減
小児科	インフルエンザ	-	-	0.20			小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.20			急増減	↑	前週と比較しておおむね	1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.20			小児科	RSウイルス感染症	2	0.08	1.49			増減	↓	前週と比較しておおむね	1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.29	1.36				急性出血性結膜炎	-	-	-			微増減	↔	前週と比較しておおむね	1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	57	2.38	3.62	→		眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.83			横ばい	↔	ほとんど増減なし	
	水痘	1	0.04	0.25				細菌性髄膜炎	-	-	-			報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。			
	手足口病	16	0.67	1.44	↔		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-			インフルエンザ定点数(小児科定点を含む) 37			
	伝染性紅斑	-	-	0.18				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20			小児科定点数 24			
	突発性発しん	5	0.21	0.30				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			眼科定点数 8			
	ヘルパンギーナ	27	1.13	0.55	↔			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-			基幹定点数 7			

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	64	40歳代、70歳代、80歳代、90歳代
4	レジオネラ症	2	31	60歳代・2人
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	8	80歳代
5	梅毒	8	64	20歳代・3人、30歳代・1人、40歳代・2人、50歳代・2人

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	嘔吐	1	2021/06/13	糞便	アデノウイルス31型
手足口病	発熱(38.7°C) 丘疹 気管支炎	1	2021/07/03	咽頭拭い液	RSウイルス
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼脂	44	2021/07/05	結膜擦過物	アデノウイルス37型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.7°C) 咽頭炎 気管支炎 細気管支炎 鼻炎 喉頭炎	1	2021/07/06	咽頭拭い液	ライノウイルス パラインフルエンザウイルス3型 ヒトカウウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載